

あんぜんだより

社会福祉法人二俣尾保育園



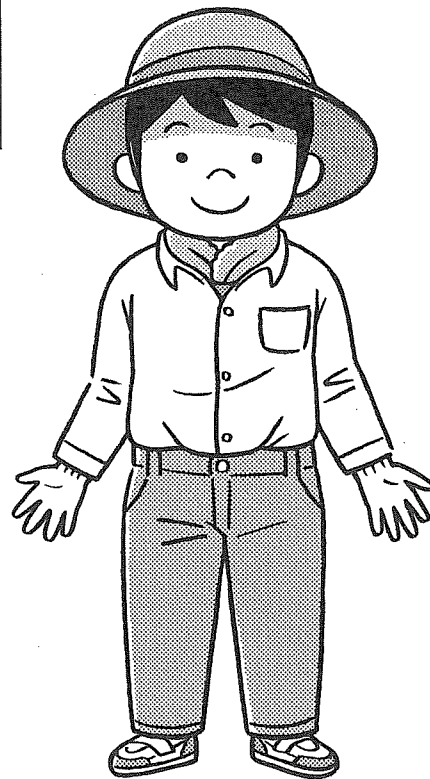
夏の野外活動で、安全に 自然と親しむために

梅雨が明けて夏を迎えると、昆虫採集やハイキングなどの野外活動を通して、子どもたちが自然と触れ合う機会が増えます。自然の中で、子どもたちが様々な体験を安全に行えるように、毒虫による被害や、熱中症、けがには十分に注意しましょう。

のやまで あそぶ ときの ふくそう

ながそで・ ながズボン

けがや むしにさされ
ひやけから みを
まもって くれるよ。
しろっぽい いろに
すると いいよ。
シャツは スポンの
なかに いれよう。



くつ

はき なれた
うんどうくつ。

ぼうし

ひざしや けがから
あたまを まもるよ。

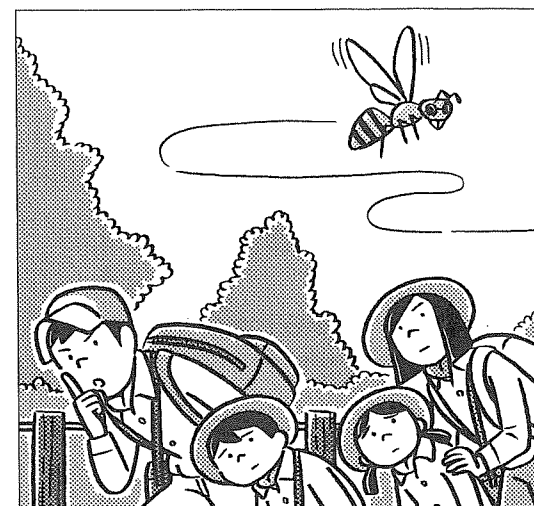
タオル

むしに さされないように
くびの まわりに まこう。

ぐんて

けがや むしにさされから
てを まもって くれるよ。

保護者の方へ 野外活動での服装は、虫刺されや、ウルシなどの樹木によるかぶれ、草木の葉や枝による切り傷、日焼けを防ぐために、長袖・長ズボン・帽子などで、肌を露出させないことが大切です。スズメバチは黒いものに反応しますので、できるだけ白っぽく、熱中症対策のために風通しの良い素材を選びましょう。



ハチに であつたら
さわがず しずかに
はなれましょう。

保護者の方へ スズメバチに出会った時は、大きな声を出したり、手で払ったりせずに、姿勢を低くして、ゆっくりと静かにその場を離れましょう。



ハチは あまい
ジュースの においに
よって くるよ。

保護者の方へ 甘い香りがスズメバチを誘います。飲み残しは放置しないようにしましょう。また、保護者の方は、香りの強い香水や柔軟剤の使用も控えましょう。



こまめに あせを
ふいて みずや
むぎちゃを のもう。

保護者の方へ 熱中症を防ぐためには、こまめに汗を拭いて、水分の補給をしましょう。スズメバチ対策の意味でも、清涼飲料は避け、水や麦茶にしましょう。

8月号では、「花火をする時の注意」について取り上げます。

